

令和2年6月19日

苫小牧市長 岩倉 博文 様

新型コロナウイルス感染症対策にかかる

『緊急要望書』

苫小牧地区ハイヤー協会

会長 米子 典良

苫小牧タクシーチケットサービス (T・T・S)

代表 高山 明大

平素は、タクシー事業に対しまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

私どもタクシー事業者は地域住民の生活に欠くことのできない公共交通機関としての輸送を担い、その社会的責任を果たすため、日夜努力をしているところであります。

しかしながら、事業者の大部分は、経営基盤の脆弱な中小企業であり、今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出自粛の要請により、乗降客数が過去類を見ない減少となり、直近、令和2年4月度の売上は前年対比で業界平均51%となっております。

外出自粛の長期化が予測される中、大型イベント中止など更なる乗降客数の減少による売り上げ低下も予想され、極めて厳しい経営環境下にあります。

このような状況の下、今後も法人タクシーが利用者ニーズに応じて安全・安心に加え質の高いサービスを提供し、地域公共交通機関としての使命を果たすことができるよう、別記のとおり要望いたしますので、事情ご賢察の上、何とぞご高配を賜りますようお願い申し上げます。

要 望 事 項

1. 新型コロナウイルスの影響で利用者急減に苦しむ市内飲食業界に 対しても支援となるタクシーを使った料理配送などの緊急的な経営支 援等について

タクシー・ハイヤー事業者は、経営基盤の脆弱な中小企業が大部分であり、大幅な減収が続いていることで資金繰りに困惑を来しており、事業継続さえ危ぶまれている状況にあります。

この危機を乗り越えて、地域住民の生活に欠くことの出来ない公共交通機関としての輸送を担い、その社会的な責任を果たすため、手厚い資金援助等の経営支援を実施していただくことが必須と考えます。

又、当業界と同様、新型コロナウイルス拡大による外出自粛で、特に夜間の飲食店が苦境に立っております。以前より当業界と夜間の飲食業界は車の両輪であり、現状のまま推移しますと両倒れになってしまうことが想定されます。この苦境を打破するため、国土交通省より期間限定（9月末まで）で認められた有償貨物運送で両業種がタッグを組んで料理配送事業を各社取り組み始めております。

しかしながら、依頼者の配送費の負担がネックとなり、事業の拡大は鈍化しているのが現状です。そこで苫小牧市がタクシー代金を補助していただくことで、利用促進を促し両業界の一助になると考えます。

何卒ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

2. 公務タクシー利用の推進について

現在、市役所職員の公務にて使用する車両使用を控え、タクシー業界支援の観点から新型コロナウイルス終息まで公務外出の折には、タクシー利用を推進いただきたい。

3. 公共料金及び市税の減免又は徴収猶予について

タクシー会社は日々快適な輸送空間をお届けするため、車両の美化のための洗車業務があり、相当量の水道を使用しており、そのコストも経営の重荷と現在はなっております。

又、2021年度について、固定資産税の減免措置がなされる予定であるが、現在、法人市民税を含めた税の支出に窮する中、手持ち資金を維持するだけで精一杯な状況となっております。

つきましては、新型コロナウイルス終息まで、公共料金及び市税の減免又は徴収猶予を切にお願い申し上げます。

以上